

# 192 I/O

## World-Class, 24-Bit/192 kHz Multi-Channel Audio Interface

**M** | **W**  
Mac OS | Windows

### FEATURES

- 使用可能な 50 入出力装備
- 最大 16 チャンネルの高品位入出力を同時使用可能
- 劇的な柔軟性を誇るアナログ及びデジタル入出力
- アナログまたはデジタル I/O 拡張用カード・オプション・ベイ：  
192 AD, 192 DA, または 192 Digital カード用
- ワールドクラス 24-bit/192 kHz A/D & D/A 変換
- 幅広いレンジのデジタル入出力標準装備：8ch x AES/EBU I/O, 8ch x TDIF I/O, 16ch x ADAT I/O 及び追加 2ch x AES/EBU または S/PDIF I/O
- ワード (1x) 及びスレーブ・クロック (256x) 入出力
- 192 Digital カード上のデジタル入力に搭載した切り替え式のリアルタイム・サンプル・レート変換機能により、あらゆるサンプル・レートのデジタル信号を簡単にストリーミング可能
- 高レベルで迫力ある録音を可能にするソフト・クリップ・リミッター搭載
- 別の 192 I/O または 96 I/O を追加できるエクステンション・ポート搭載
- 888/24, 882/20, 1622, 24-Bit ADAT Bridge I/O を接続できるレガシー・ポートを装備\*

\* 48 kHz 以下のサンプルレート時

Pro Tools®|Hd システムは、プロフェッショナル・ミュージック、オーディオ・ポスト・プロダクション、放送局そしてマルチメディア分野での包括的かつ柔軟性に富んだソリューションとして登場しました。この新しい Pro Tools の「顔」となるのが、Pro Tools|HD 環境の音質とダイナミクスを最大化するようにデザインされた高品位な 24-bit/192 kHz マルチチャンネル・オーディオ・インターフェース 192 I/O™ です。

192 I/O は、Digidesign® 史上、最も音質に優れたオーディオ・インターフェースで、2倍以上の価格を持つ他のインターフェースに匹敵する仕様を誇っています。最大16チャンネルまでのアナログ及びデジタル入出力に対応するだけでなく、高品位な8チャンネルのアナログ I/O、8チャンネル AES/EBU、8チャンネル TDIF、16チャンネル ADAT そして追加の2チャンネル AES/EBU または S/PDIF デジタル I/O を含む、広いレンジのアナログ及びデジタル入出力端子を備えているのです。

優れた音質という特徴以外にも、192 I/O には今までの Digidesign オーディオインターフェースの中で最も柔軟性に富んだ構造を持つという利点があります。192 I/O には、拡張用 I/O ベイが装備されており、3種類の拡張用オプション・カードの中の一つを搭載可能です。これによりアナログ入力やデジタル入出力の増設が行え、ニーズに応じたカスタマイズが可能となります。

### ハイ・サンプル・レート対応

Pro Tools|HD 環境では、96kHz サンプル・レートのみならず、最高 192kHz までサポートされています。Pro Tools|HD のフラッグシップ・オーディオ・インターフェースとして、192 I/O は 192, 176.4, 96, 88.2, 48, 及び 44.1 kHz サンプル・レートに対応しています。

192 I/O を使用することにより、プロフェッショナル・オーディオ・プロダクションの世界

の最新スタンダードで作業することが容易になるだけでなく、将来のスタンダードにいつでも対応できる準備も整います。今回サポートするハイ・サンプル・レートと 24-bit 分解能により、クリアで繊細なサウンドのニュアンスまで損なう事なく再現可能となるでしょう。

### 最高峰のオーディオ・パフォーマンス

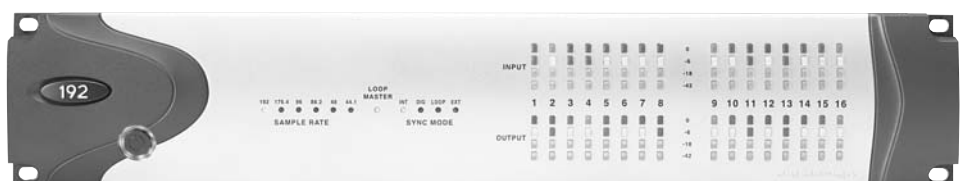
192 I/O には、Pro Tools|HD 環境のフラッグシップ・オーディオ・インターフェースとなるに相応しい理由があります。192 I/O と比較できる製品は、この市場にわずかしか存在しません。-120 dB (A-weighted) のダイナミック・レンジを誇る 192 I/O の音質は、現存する全オーディオ・インターフェースの中でも、最も高品位な部類に入るでしょう — それを従来の半分以下の価格で実現しているのです。

192 I/O にはまた、ソフト・クリップ・リミッター回路も内蔵しています。これは、オーディオ信号が -4 dBFS に届くとリミッティングを始め、オーバーロードを未然に防ぎます。この機能はまた、アナログ・テープ・サチレーション効果を生み出す為に使う事もできるでしょう。

### デジタル I/O オプション

192 I/O に標準搭載される I/O オプションは非常に充実しています。8チャンネルの AES/EBU、TDIF そして ADAT デジタル I/O が1枚のカード上に装備され、スタジオ内のあらゆるデジタル機器と Pro Tools|HD を簡単に統合することができます。さらに、追加の8チャンネル ADAT I/O と2チャンネルの AES/EBU と S/PDIF が、筐体上に搭載されています。またワードクロック I/O も背面に搭載していますので、複数インターフェース使用時もタイトな同期環境を実現可能です。

さらに、このデジタル I/O カードでは、ハードウェアベースのサンプル・レート・コンバージョンを可能にするオンボード・サンプル・レート・コンバータ・チップを使用することができます。つまり、どのサンプル・レートの信号であっても Pro Toolsセッション内にストリーミングすることが可



# 192 I/O

World-Class, 24-Bit/192 kHz Multi-Channel Audio Interface

## SPECIFICATIONS

### A/D

サンプル・レート: 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz  $\pm 10\%$

ダイナミック・レンジ:  
120 dB (A-weighted)  
118 dB (unweighted)<sup>1,2</sup>

THD+N: 0.00035%  
(-109 dB); +21 dBu  
@997 Hz<sup>1</sup>

THD+N: 0.00035%  
(-109 dB); +21 dBu,  
20 Hz - 20 kHz<sup>1</sup>

周波数特性:  
 $\pm 0.05$  dB @ +2 dBu,  
20 Hz - 20 kHz<sup>1,3</sup>

### D/A

サンプル・レート: 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz  $\pm 10\%$

ダイナミック・レンジ:  
118 dB (A-weighted)  
115 dB (unweighted)<sup>1,4</sup>

THD+N: 0.00056%  
(-105 dB); -1 dBFS  
@997 Hz<sup>1</sup>

周波数特性:  $\pm 0.05$  dB,  
-20 dBFS, 20 Hz - 20 kHz<sup>1,3</sup>

サンプル・レート = 48 kHz,  
Noise BW = 22 Hz - 20 kHz  
unless otherwise noted,  
Tamb = +25 C

<sup>1</sup> Measurement made using  
+4 dBu inputs or outputs

<sup>2</sup> ADC measured with analog  
input at -38 dBu @997 Hz

<sup>3</sup> Measured relative to level  
at 1 kHz

<sup>4</sup> Measured with digital input  
at -60 dBFS @997 Hz

能となるのです。例えば、48kHzサンプル・レートでオペレートされている TDIF 互換機器からオーディオをストリームし、ミキシングやプロセッシングを行うため、192kHzの Pro Toolsセッションにリアルタイムで取り込むことも可能となるのです。

### 卓越した柔軟性

192 I/O で最もユニークな特徴は、その拡張性にあるでしょう。これによりニーズに応じて 192 I/O の仕様をカスタマイズすることも可能となりました。ユニット自体には、標準で 8チャンネル・アナログ・インプット、8チャンネル・アナログ・アウトプット、そして 8チャンネル AES/EBU, TDIF 及び ADAT デジタル入出力が装備されています。そして、192 I/O 上の 4つのベイのうち 1つは、さらに I/O を拡張する為に「空き」状態となっています。ここにはもう一枚の I/O カードを挿入し、アナログ・インプット、アナログ・アウトプットまたはデジタル入出力を拡張することができるのです。

192 I/O のアナログ I/O 拡張カードとしては、8チャンネルの高品位アナログ入力を追加する 192 AD カード、8チャンネルの高品位アナログ出力を加える 192 DA カードがあります。192 I/O にはまた、あらゆるサンプル・レートを持つデジタル信号を Pro Tools セッション内にストリーミングする為のリアルタイム・サンプル・レート・コンバージョン・チップを搭載した 8チャンネル AES/EBU, TDIF そして ADAT I/O 端子を備えた 192 Digital カードも用意されています。

### インターフェイスの接続

HD Core™ 及び HD Process™ カードは、Digidesign オーディオ・インターフェイスを使用し最大 32チャンネルまでの入出力に対応しています。新しい 16

チャンネル 192 I/O 及び 96 I/O オーディオ・インターフェイスは、HD カードで可能な入出力数を最大限に利用するため、それぞれをデジタルチェーンで接続できるようデザインされています。192 I/O 背面の拡張ポートには、もう一台の 192 I/O または 96 I/O を装備できる DigiLink ケーブルを接続することができ、16チャンネルの高品位入出力を追加することが可能となります。一方、レガシー・ベリフェラル・ポートも搭載され、44.1/48kHz 時に使用可能な 888|24 I/O, 882|20 I/O, 1622 I/O または 24-Bit ADAT Bridge I/O を接続することができるようになっています。

### 素早い設定作業

Pro Tools | Hd システムに対応する最新の Pro Tools ソフトウェアは、Pro Tools 起動時に自動検知及び自動設定が可能です。これにより各 HD カードに接続されているインターフェイスをマニュアルで定義する必要がなくなり、インストール時、再設定時の作業速度が劇的に向上します。

### 魅力的な価格設定

192 I/O の音質的な優秀さは、驚異的なものがあります。キャパシティやオプションの充実度も他に類を見ないでしょう。192 I/O は、今まで登場した製品の中でも、最もユニークかつ驚異的なオーディオ・インターフェイスだと言えるでしょう。しかも、そのコストは従来までの同等製品の約半分です。Digidesign は、抜群のコスト・パフォーマンスを維持しながら、プロフェッショナル達にオーディオ制作を行う、最も革新的でワフルかつフレキシブルなツールを登場させることで、その基準を引き上げたと言えるでしょう。



©11/03. 192 I/O, 96 I/O, 888|24 I/O, 882|20 I/O, 1622 I/O, ADAT Bridge I/O, Avid, Digidesign, HD Core, HD Process 及び Pro Tools は Avid Technology, Inc. 及びそのディビジョンの登録商標です。その他の製品名等は、各社の登録商標です。Mac OS は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Windows は Microsoft Corp. の登録商標です。表記されている全ての機能、仕様及び外観等は予告なく変更される場合があります。

デジデザイン  
アビッドテクノロジー株式会社

〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-11-7  
ATT 新館ビル 4F

Tel 03.3505.7963  
Fax 03.3505.3417  
Email infojp@digidesign.com

www.digidesign.com  
www.avid.co.jp

A division of **Avid**